

知識基盤社会を先導する私立大学

—私立大学を基幹とする高等教育政策への転換を—

わが国高等教育の約8割を担う私立大学は次代を拓く原動力

- ▶大学の強化なくして、わが国の発展はない。多彩な「私立大学」は国力そのものである。
- ▶わが国が活力ある健全な国家として発展していくためには、日本の大学の約77%を占め、学部学生の約78%（2017年）の教育を担い、わが国の人材育成に大きな役割を果たしている私立大学の充実・発展による高等教育の振興こそ、国の最重要課題である。

高等教育の公財政支出に関する国私間格差の是正が急務

- ▶私立大学の経常的経費に対する補助割合は、私立学校振興助成法（附帯決議）において「速やかに2分の1とする」とされたにもかかわらず、昭和55年度（29.5%）をピークに減り続けて、平成27年度、ついに10%を切り9.9%となった。如上の私立大学の重要な役割を勘案すれば、私立大学経常的経費の2分の1補助の早期実現は急務である。
- ▶国内総生産（GDP）に対する高等教育への公財政支出割合（0.6%）はOECD加盟国（平均1.1%）の中で最低水準（加盟国中最下位）にある（2013年）。大学生一人当たりに対する国費負担の格差は約1.3倍（私立が約16万円、国立が約199万円）である（2015年）。
- ▶国費による支援の下で授業料減免を受けられる大学生の割合は、私立が約1.8%（約3.8万人。2分の1補助）、国立が約29.6%（延べ約18.1万人。全額補助）であり、約28ポイントと大きな格差がある。（2014年）。

地域社会の人材育成と地方創生、グローバル化を推進する私立大学

- ▶地域の地（知）の拠点として全国に展開する私立大学は、地域の創生・活性化を図るべく、地域リーダーの育成や地方の課題発見・解決に積極的に貢献している。
- ▶学部における外国人留学生の約81%、外国人教員の約59%（2016年）が私立大学に所属しており、わが国における教育研究のグローバル化の取組みを私立大学が力強く推進している。

熊本地震・東日本大震災からの復興と日本の再生モデルを牽引する私立大学

- ▶地域に根差し多様で特色ある研究・教育を行う私立大学は、被災地域復興の重要な拠点として、全国各地の自治体や企業等と連携して防災や復旧・復興支援に取り組んできている。
- ▶全国の私立大学は、被災地域のニーズに対応した復興の担い手となる人材育成をはじめ地域密着型の共同研究・ボランティア活動の継続的推進に尽力している。この取組みこそ、被災地域の復興・再生と日本再生の原動力である。

（参考）

- 高等教育への教育投資（学生一人当たりの公財政支出額）は国公立大学全体で254万円、私立大学では71万円と試算され、公財政支出により経済的・社会的効果は、国公立大学全体で約2.4倍である。これを私立大学のみで見た場合、約8.6倍の効果がある。
- 大学（学部）進学率は、OECD加盟国平均の59%に対して日本は49%（2014年）、人口千人当たり学生数も米国の約62.3人に対し日本は約23.3人（2015年）にとどまり、一層の量的拡大が必要である。